

芸術家 大森レイ 新作『風神雷神図屏風 大森レイ 2026』発表個展のご案内

開催期間：2026年4月15日（水）～4月30日（木）

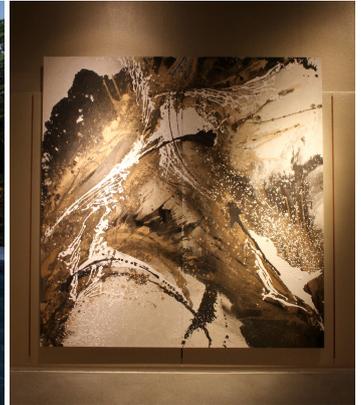
2026年4月15日(水)～4月30日(木)の期間、芸術家・大森レイ氏の新作、
『風神雷神図屏風 大森レイ 2026』を発表する個展を開催いたします。



芸術家 大森レイ氏



レストラン「TENJIN」
『風神雷神図屏風』が展示される



大森レイ氏 作品例

大森氏は、絵画と陶芸を軸に、素材や分野に捉われない横断的な表現を追求する芸術家です。
その精神性と美学は国内外のラグジュアリーブランドからも高い信頼を得ており、
芸術とデザインの領域で制作活動を行っています。

本展において大森氏は、琳派の祖として知られる俵屋宗達の最高傑作『風神雷神図屏風』を
自身の手で現代に蘇らせたいという強い想いのもと、その精神を深く読み解きながら
現代における新たな表現へと昇華することに挑みました。

本展では、『風神雷神図屏風 大森レイ 2026』に加え、その探究の過程から生まれた
複数の作品を通じて大森氏の創作の広がりをご覧ください。

(※『風神雷神図屏風』については、展示後に世界遺産・清水寺へ奉納予定。)

芸術家／大森レイ (Rei Omori)

ハワイに生まれ、京都に育つ。自然界に内在する湾曲や均衡の美を根源とし、陶芸と絵画を軸に独自の表現を追求する作家。

2023年冬、世界遺産・清水寺の重要文化財内に一ヶ月間迎えられ、長年にわたり集めてきた手漉き紙を素材に、修行の中で幅八メートルに及ぶ龍を制作。江戸時代の円龍図に着想を得たその眼差しは、どの角度からも観る者と静かに向き合う。完成を固定せず、時を重ねながら深化させていく制作姿勢は、精神性と技術の融合そのもの。辰年にあたる本個展にて、この龍は初めて公開され、新たな歩みを刻む。

次なる制作として大森レイは、日本美術史を代表する絵師、俵屋宗達の『風神雷神図屏風』に正面から向き合う。本作への取り組みは、単なる再解釈や造形的引用に留まらず、自然と神性、動と静といった日本美術の根源的テーマを、現代においていかに更新し得るかを問う試み。不可視の力を画面に定着させるその探求は、素材への徹底した思索と、時間を内包する制作態度に裏打ちされている。伝統への最大限の敬意を抱きながら、新たな地平を切り拓くその歩みは、過去と現在、そして未来を静かに接続していく。WWW.REIOMORI.COM



芸術家 大森レイ氏



大森レイ氏 作品『虎図』

-代表作品-

- ・音羽山清水寺にて作成 / 八方睨み白龍図 ほか

ROKU KYOTO 大森レイ 新作『風神雷神図屏風 大森レイ 2026』発表個展 開催概要

【開催期間】2026年4月15日(水)～4月30日(木)

【開催時間】期間中、常時展示

(大森レイ氏 在廊時間 平日 17:00～20:00 / 土日祝 14:00～20:00)

【開催場所】レストラン「TENJIN」前通路、レストラン「TENJIN」

【展示作品】『風神雷神図屏風 大森レイ 2026』(※展示後は、京都・清水寺へ奉納予定) ほか

【料金】無料

【問い合わせ】URL：<https://www.rokukyoto.com>

電話：075-320-0176 (受付時間 平日 9:00～18:00)